



平成29年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成28年7月29日

上場取引所 東

上場会社名 大研医器株式会社

コード番号 7775 URL <http://www.daiken-iki.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 山田 圭一

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理部長

(氏名) 玉牧 健二

TEL 06-6231-9917

四半期報告書提出予定日 平成28年8月1日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第1四半期の業績(平成28年4月1日～平成28年6月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第1四半期	2,031	3.4	397	△3.0	398	△4.8	294	1.1
28年3月期第1四半期	1,964	4.3	409	15.0	418	17.6	291	22.4

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第1四半期	9.83	9.82
28年3月期第1四半期	9.73	9.72

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第1四半期	10,161	6,537	64.3
28年3月期	10,136	6,512	64.2

(参考)自己資本 29年3月期第1四半期 6,531百万円 28年3月期 6,506百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
28年3月期	—	7.00	—	9.00	16.00
29年3月期	—	—	—	—	—
29年3月期(予想)	—	7.00	—	9.00	16.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	4,150	2.8	840	1.4	840	0.4	585	0.3	19.51
通期	8,550	3.5	1,740	2.6	1,750	2.7	1,200	4.1	40.01

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

29年3月期1Q	31,840,000 株	28年3月期	31,840,000 株
29年3月期1Q	1,849,257 株	28年3月期	1,849,257 株
29年3月期1Q	29,990,743 株	28年3月期1Q	29,990,784 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第1四半期累計期間	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
4. 補足情報	
生産、受注及び販売の状況	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、政府による積極的な金融・経済政策により、雇用情勢の改善が続くなど、全体的には緩やかな回復基調で推移しました。しかしながら、急激な円高や中国を始めとするアジア新興国や資源国等の経済の減速による企業収益の悪化懸念が強まるなど、依然として先行き不透明な状況が続いております。

また、当社を取り巻く事業環境は、高齢化の進展による手術数の増加、院内感染や医療事故防止対策の推進により、国内外において医療用消耗品のニーズの拡大が続いております。

さらに、医療機器産業はわが国の経済成長に寄与し得る産業として期待され、「健康・医療戦略推進法」及び「独立行政法人日本医療研究開発機構法」の公布、保険外併用療養費制度の拡大推進を促す規制緩和の取り組み等により、国内医療機器産業の発展を促す環境は整いつつあります。

しかしながら、平成26年11月に施行された「医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律」により規制緩和が進み、国内外の異業種からの新規参入や既存メーカーの新分野への積極的な取り組みなど、他メーカーとの競争が予想されます。また、製造販売業者に対し、製造販売後の安全体制の一層の充実・強化、市場に対する責任の明確化を要求され、引き続き業界を取り巻く経営環境は厳しい状況が続いております。

このような状況のもと、当社は、高品質製品の常時安定供給を優先事項と掲げ、ユーザーと密着した営業活動の推進、品質を確保しながらもコスト競争力をもった生産体制の構築並びに独創的な製品の研究開発活動の強化に取り組んでまいりました。

当第1四半期累計期間の経営成績の分析は次のとおりであります。

① 売上高

売上高は2,031百万円(前年同期比3.4%増)となりました。これは主として、主力の吸引器関連において、病棟用のキューインポットが好調に推移したこと等によるものです。

② 営業利益

営業利益は397百万円(前年同期比3.0%減)となりました。これは主として、人件費及び研究開発費の増加により、販売費及び一般管理費が増加したこと等によるものです。

③ 経常利益

経常利益は398百万円(前年同期比4.8%減)となりました。これは主として、営業利益が減少したことに加え、助成金収入等の営業外収益が減少したこと等によるものです。

④ 四半期純利益

四半期純利益は294百万円(前年同期比1.1%増)となりました。これは主として、税率の引き下げにより、法人税等が減少したこと等によるものです。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産

流動資産は前事業年度末に比べて、51百万円増加し6,257百万円となりました。これは主として、受取手形及び売掛金が109百万円減少したものの、製品が86百万円、現金及び預金が64百万円それぞれ増加したこと等によるものです。

固定資産は前事業年度末に比べて、26百万円減少し3,904百万円となりました。これは主として、減価償却費が資産の新規取得額を上回ったことにより有形固定資産が21百万円、無形固定資産が3百万円それぞれ減少したこと等によるものです。

② 負債

流動負債は前事業年度末に比べて、62百万円増加し2,725百万円となりました。これは主として、未払法人税等が191百万円減少したものの、短期借入金が200百万円、支払手形及び買掛金が108百万円それぞれ増加したこと等によるものです。

固定負債は前事業年度末に比べて、62百万円減少し899百万円となりました。これは主として、長期借入金が59百万円減少したこと等によるものです。

③ 純資産

純資産は前事業年度末に比べて、24百万円増加し6,537百万円となりました。これは主として、利益剰余金が剰余金の配当により269百万円減少したものの、四半期純利益を294百万円計上したこと等によるものです。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期累計期間の業績は概ね当初予想通りに推移しており、第2四半期累計期間及び通期の業績につきましても、現時点では、平成28年3月期決算短信(平成28年5月13日公表)に記載いたしました業績予想と変更はございません。

なお、業績予想につきましては本資料の発表日において入手可能な情報に基づき当社で判断したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想値と異なる場合があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

○ 税金費用の計算

当事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

3. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

	前事業年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成28年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,302,435	2,367,032
受取手形及び売掛金	2,785,425	2,676,377
製品	553,000	639,658
仕掛品	50,970	48,653
原材料	279,472	288,281
繰延税金資産	146,210	146,210
その他	88,490	91,343
貸倒引当金	△189	△189
流動資産合計	6,205,816	6,257,367
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	746,617	739,566
土地	1,703,670	1,703,670
その他(純額)	1,246,650	1,232,027
有形固定資産合計	3,696,938	3,675,264
無形固定資産	68,077	64,215
投資その他の資産		
投資有価証券	5,269	4,785
繰延税金資産	40,081	40,229
その他	153,057	151,680
貸倒引当金	△32,398	△31,748
投資その他の資産合計	166,009	164,947
固定資産合計	3,931,026	3,904,427
資産合計	10,136,843	10,161,795

(単位:千円)

	前事業年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成28年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	902,923	1,011,248
短期借入金	400,000	600,000
1年内返済予定の長期借入金	289,952	269,952
未払法人税等	307,781	116,030
未払費用	384,571	412,633
賞与引当金	-	7,661
その他	377,458	307,902
流動負債合計	2,662,686	2,725,428
固定負債		
長期借入金	940,092	880,104
その他	21,430	19,193
固定負債合計	961,522	899,297
負債合計	3,624,209	3,624,725
純資産の部		
株主資本		
資本金	495,875	495,875
資本剰余金	505,204	505,204
利益剰余金	6,015,639	6,040,650
自己株式	△510,004	△510,004
株主資本合計	6,506,714	6,531,725
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△80	△416
評価・換算差額等合計	△80	△416
新株予約権	6,000	5,760
純資産合計	6,512,633	6,537,069
負債純資産合計	10,136,843	10,161,795

(2) 四半期損益計算書
(第1四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)
売上高	1,964,153	2,031,221
売上原価	931,174	970,022
売上総利益	1,032,978	1,061,199
販売費及び一般管理費	623,426	663,925
営業利益	409,552	397,274
営業外収益		
受取利息	91	35
受取配当金	177	104
未払配当金除斥益	290	749
受取補償金	2,779	287
助成金収入	5,500	-
貸倒引当金戻入額	-	650
その他	1,629	405
営業外収益合計	10,467	2,232
営業外費用		
支払利息	1,489	1,127
その他	0	89
営業外費用合計	1,489	1,217
経常利益	418,529	398,289
特別利益		
ゴルフ会員権売却益	-	1,650
特別利益合計	-	1,650
特別損失		
固定資産除却損	683	212
特別損失合計	683	212
税引前四半期純利益	417,846	399,726
法人税等	126,105	104,799
四半期純利益	291,741	294,927

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

4. 補足情報

生産、受注及び販売の状況

当社の事業は、医療機器等の製造販売及びこれらの付随業務の単一セグメントであるため、生産、受注及び販売の状況につきましては、当社の製品群別に記載しております。

① 生産実績

製品群	生産高 (千円)	前年同四半期比 (%)
吸引器関連	620,103	+18.2
注入器関連	297,605	+0.1
電動ポンプ関連	13,257	△41.3
手洗い設備関連	84,188	△2.2
その他	47,291	+4.8
合計	1,062,447	+8.9

(注) 1 金額は製造原価によっております。

2 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

② 受注実績

当社は、見込生産を行っているため、該当事項はありません。

③ 販売実績

製品群	販売高 (千円)	前年同四半期比 (%)
吸引器関連	1,260,809	+5.3
注入器関連	524,781	+2.6
電動ポンプ関連	24,993	+68.5
手洗い設備関連	166,001	△7.4
その他	54,636	△9.8
合計	2,031,221	+3.4

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。